



日本イーストウエストセンター同友会

The Japan EWC Association

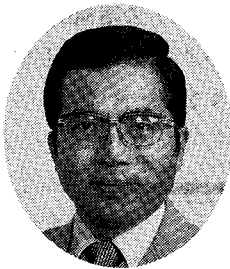
ニューズレター 第2号

EWCA(国際イースト・ウエスト・センター同友会) 会長よりの挨拶

千 本 倖 生

(78 Professional Associate)

(第二電電株式会社・専務)



皆様こんにちは。私は日本 EWCA の副会長のまま、過去2年間、全世界にわたる支部の上部機関である本部(在ホノルル)の役員(Executive Board Member)を務めさせていたたきましたが、さる6月末にインドネシアのバリ島で開催された世界大会(International Alumni Conference)の期間中に開かれた役員会議ではからずも Executive Board の Chairman に選出されました。私のようなビジネスの世界の人間で、しかも short term の Professional Associate としてしか EWC に滞在したことのない人間が最高機関の長に就くことに私自身強く抵抗したのですが、過去の Board からの連続性、それに太平洋地域における日本の重要性の高まり等々の政治的事情から、最終的には引受けざるを得なくなりました。これからの2年間微力ながら全力を尽して世界に散らばる25,000人からな

る EWC 同友会の活動に貢献いたしたいと存じます。

EWC 同友会のメンバーは実にユニークで政府の高官から大学教授、ビジネスマンと実に幅広く、各国で活躍されております。殊にここ数年アジア・太平洋地域が世界に占める役割が飛躍的に増し、いろんな指標でも大西洋をしのぎ、「紀元2000年」に向けて明らかに世界の重心が移動したと言っても過言ではなくなってきました。

このような事情から EWC の位置付けもやっと本来の重みを発揮できる状況になり、従ってその卒業生組織である EWCA も相互的に存在感を大いに増すことになってきました。

この重要な時期に International Executive Board の会長を引き受けることは、極めて重大なことと重ねて認識いたしておりますが、日本の皆様方の全面的な御支援を賜わって何とか、アジア・太平洋時代の EWC と EWCA の発展のために最大限の努力をいたしたいと思っております。

Executive Board として1989年度の最重要事項と考えておりますことは次の4点であります。

(1) 地域会議 (Regional Meetings) の開催

1991年に開催される次回の世界大会までに EWC と EWCA の共催でアジア・太平洋地域で数回・地域会議を開催したい。まず来年「2000年」に向けて、インドネシアで、「教育」、「人口問題」、「女性問題」、「科学・技術移転」等を中心に議論する地域会議を現在準備しつつあり、日本からも積極的にこれに参画していただきたい。

(2) 1991年世界大会

次期の1991年の大会の候補国として非公式ながらタイが主催したいとの意向を持っていることから、これの公式決定を10月までに行い、大会議長、開催場所、時期、テーマ、予算、広報等に着手しなければならない。

(3) 各国の支部の育成

これまでの支部の活性化をはかり、活動を実質的にすると共に、新支部の育成を積極的

にはかりたい。現在も数支部が誕生しつつあるのでこれに万全の援助を与え、この2年間でアジア・太平洋地域で10ぐらいの新支部を創設したい。

(4) EWCA 資金獲得

バリ世界大会での経費が大幅にかかったこともあり、Fund Raise を実行しなければならない。Fund Raise Committee を設立し、これまでのようにハワイのメンバーだけに頼ることなく、出来るだけ多くのメンバーがこれに参画して早く健全な経理に戻したい。

折に触れ、日本のメンバーの皆様がこのような世界の状況につき御報告申し上げたいと存じております。どうぞ、アジア・太平洋の中の日本の立場を考え、皆様方の積極的な EWCA 活動へのかかわりを心よりお願い申しあげて、ごあいさついたします。

Bali Conference に出席して

East-West Center の International Alumni Conference が、1988年6月20日から24日までの間、インドネシアのバリ島で開催されました。

EWCA の Chairman のインドネシアの Dr. Didin Sastrapradja のリーダーシップのもとで、別表(添付)のようなスケジュールにしたがって行われました。全世界から400名をこえる人々が参加し、日本からも30人以上の方が参加されました。

6月20日の12:00から12:40までに行われた International Advisory Council Luncheon Meeting には、各国の Chapter の代表が出席しました。日本からは、EWCA の Board Member であり、また日本 EWCA の副会長でも

ある千本倅生氏、日本 EWCA の会長である馬場房子、関西 Chapter から富田光彦氏、沖縄 Chapter から石原英氏の4人が出席しました。その席で、各国の各 Chapter の代表により、最近の活動状況や問題点が述べられました。問題点としてあげられたものの中には、EWC に長期滞在した者と短期滞在した者との意識のずれ、Fund Raising のむつかしさ、Chapter 活動の活性化の問題などがありました。いずれにしても、現在ある26の Chapters のうち、活発なのは4分の1に過ぎないようです。したがって、これからの EWCA の課題の1つは、「Chapters の活性化」にあると言えます。

ところで、今回、EWCA の Chairman には、

千本倅生氏が選ばれました。そこで、われわれ日本 EWCA でも、Chapters の活性化にとり組み、EWCA の発展に少しでも寄与できればと思っております。

また、3年後の国際会議については、タイの Chapter の人が「やりたい」旨の発言があり、6月24日の EWCA の Business Meeting でも、多くの方々からの支持がありました。もしもタイが3年後の国際会議の開催地に正式に決定しましたら、日本 EWCA でも、精神的にも、またできましたら経済的にも支持していきたいと思いますが、いかがでしょうか？ さらに、タイの

次に、1994年に、日本で開催できたらとも思っております。ただ、わが国では物価が高く、世界から大勢の方々においでいただくには、よほど日本 EWCA の努力が必要であると思っておりますので、皆様のお考えを寄せていただきたく思います。

なお、1989年に、インドネシアのジャカルタにおいて、Regional Meeting が開催されることです。わが国でも、問題を絞って、Regional Meeting を開催できればと思っています。皆様の一層の御指導と御支援をお願い申し上げます。(昭和63年7月15日 馬場房子)

セミナー報告

創刊号でお知らせしましたカナダ・ブリティッシュコロンビア大学経済学部教授 永谷敬三博士 (EWC 62-64) によるセミナーは、3月18日午後6時より日本大学経済学部会議室で開催されました。多数の方々に参加し盛況でした。

演題は、「海外から見た日本」を予定しておりましたが、永谷先生のご意向で「オー カナダ」と題したお話になりました。参加出来なかった日本 EWCA 会員の方々にも、ご講演の内容を紹介させていただくため講演録を同封致しました。

関西支部活動報告 2000p 3000p

Dr. Joseph Kess (EWC 63-67) の来日を機に EWCA 関西支部では日米文化系学術交流センター及び大学英语教育学会関西支部と共催で下記のような講演会およびレセプションを開催いたしました。

記

講師：Joseph Kess (Victoria 大学言語学科主任教授、East-West Center Alumni Representative for Western Canada)

演題：Difficulty and Ambiguity in English—Syntactic, Discourse and Psycholinguistic Approach

司会：須藤 淳 (神戸大教授)

コメンテーター：寛 寿雄 (神戸大教授)

日時：3月30日 (水) 4:00—6:00 p.m. 講演、6:00—7:30 p.m. レセプション

場所：武庫川女子大学 第一学舎クリステリア

(各地域での支部活動についてご報告がありましたら日本イーストウェストセンター同友会宛お送り下さい。)

Ms. Sumi Y. Makey を囲んで

Bali Conference に出席のためインドネシアに行く途中、日本に立ち寄られた前の EWC の Dean であった Ms. Sumi Y. Makey を囲んで、昭和63年6月17日の夕方、懇親会が開催されました。急なことでしたので、年度幹事および東京地区在住の方々に連絡してご出席いただきました。

総会のお知らせ

昭和63年度日本イーストウェストセンター同友会の総会を下記の要領で開催いたします。今年度は総会の決議の後62-64年度 EWC Grantee で、現在神奈川県のインドシナ難民の為の大和定住促進センター所長であられる内藤健三氏に講演「難民問題——世界と日本」をお願いいたしました。内藤氏はイーストウェストセンター日本同窓会の初代会長でもいらっしゃいます。また、総会には現 EWC 同友会顧問の、EWC 理事山下勇氏（現 JR 東日本会長）、日本大学経済学部長井手生氏（EWC '82）、前日本 EWC 同友会会長高沢義行氏（EWC '71、現ノルディックジャパン社長）の御出席も予定されております。是非、多数の皆様のご参加を期待しております。同封の返信用葉書で11月5日までにお知らせ下さい。（海外在住の方々への返信用葉書きは省略させていただきます）

記

日時：昭和63年11月19日(土) 6:00~8:00 p.m.

場所：日本工業倶楽部

東京都千代田区丸の内1-4-6

電話 (03) 281-1711 (代表)

JR 線：東京駅下車丸の内北口徒歩3分

地下鉄：丸の内線下車徒歩1分

会費：¥6,000

ホームステイを 引き受けて下さいますか

昭和63年2月19日付で、千本倅生氏あてに1通の手紙が来ました。それは、1966-67年の EWC の Alumni の Mrs. Mary Edna Mathew からのもので、6月8日から11日まで東京に行きたいが、彼女と友人の Miss Martina Pereira の2人のために、host family を探してほしいという内容のものでした。理由は2つあって、1つは、日本文化を知りたいということ、2つはインド

から500ドルしか持ち出せないで、節約したいということでした。

早速東京在住の Alumni の方々にお電話をしましたが、今回はホームステイを引き受けて下さる方を見つけることができませんでしたので、安価なホテルをご紹介しました。今後、このようなことがありました時に、ホームステイを引き受けてもよいという方がおいでになりましたら、事務局宛にご連絡下さい。（中村正枝）

会費納入のお願い

1988年度の会費の納入をお願い致します。振込用紙を同封させて頂きましたので御利用下さい。会費は¥5,000です。

EWCA の Fund Raising に関して

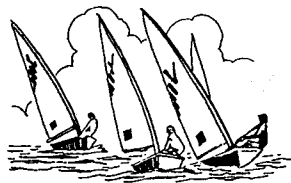
ハワイの EWCA からの寄付の要請に対してご協力の意志がおりの方のご便宜をお計りするために郵便局に下記の口座を用意してありますのでご利用下さい。

同友会がまとめて、お名前とともに送金手続を代行しております。

東京 6-352785

亜細亜大学馬場研究室内

日本イーストウェストセンター同友会 (ハ)



イースト・ウェスト・センター国際会議場

テラコッタ陶器大壁画制作

ハワイ日本人官約移民100周年を記念して、1985年同実行委員会（委員長、ジョージ有吉・州知事）は民間の協力をえてイースト・ウェスト・センター内のトーマス・ジェファソン・ホールを改装して国際会議場を建てた。

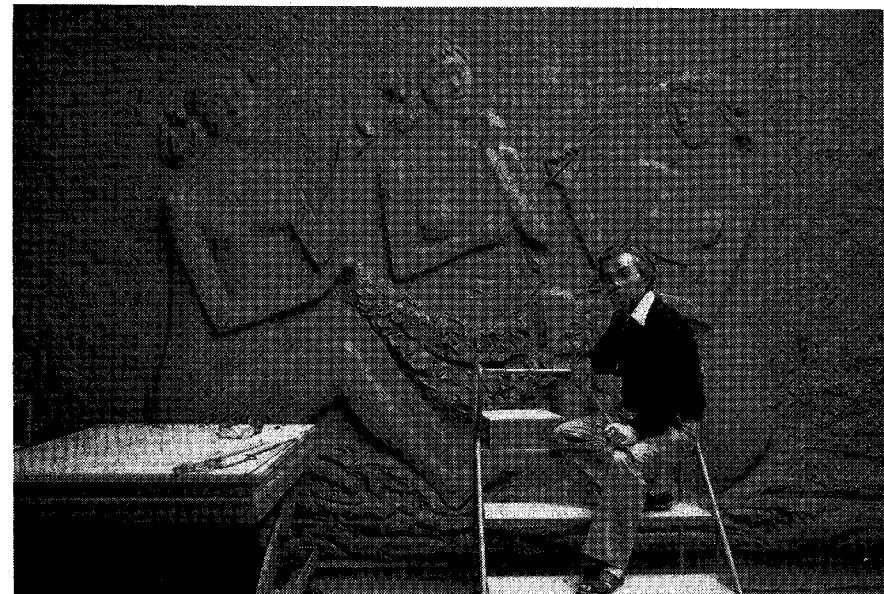
これは「イミン・センター」と名づけられ、日本からも経団連らが費用の一部を負担した。

しかしインテリアは質素で寂しく、会議、セ

ミナーの合間の憩いの場にふさわしい壁画を強く希望され、力強い、素朴な陶器の手法として古今東西から伝わる、高さ3m×幅5mのテラコッタ大壁画を、愛知県瀬戸市在住の現代日本の第一人者（愛知県尾張瀬戸）石田武至名古屋芸大教授（日展評議員）と小沢隆久バンソーセラミック社長による制作で、1986年暮れに完成し両氏が寄贈した。日本庭園前の地階カフェ

テラスに通ずる階段正面の壁画（読書室側）に設置された壁画は大変好評で、今や同会議場の名物になっている。

残り片面（郵便ポスト側）を完成させるべく、社団法人・日本海外協会（会長、安倍自民党幹事長）内に募金委



▲陶土板に大太平洋の波間でレイをあむ東洋・西洋・ポリネシアの乙女たちを彫刻中の石田武至氏



1986年10月31日の除幕式会場（左からリー所長、石田、小沢、有吉知事夫妻、チャブリン元アドバタイザー編集長、遠藤総領事の各代）▶

員会を作り、ハワイで活躍中の企業を中心に募金活動を行っている。今年末には完成の見込み。

なお設置場所は、日本庭園前の、地階カフェテリアに通ずる両壁面で来年にはその雄大な大画面が見られる。

現状はと言えば日本企業からの募金は容易ではなく、また大蔵省による免税処置申請も複雑で時間が要っています。

しかし、本年中には目的を達成出来ると思います。

この件に関しては、私は7月の貴同友会の幹事会に強く出席を希望して制作の主旨を説明する機会が実現した事、このニューズレターに寄稿させていただいたことを皆様に感謝致します。

最後に皆様の関連している団体・企業で協賛の良い情報がありましたら下記までご連絡下さい。

社団法人 日本海外協会内

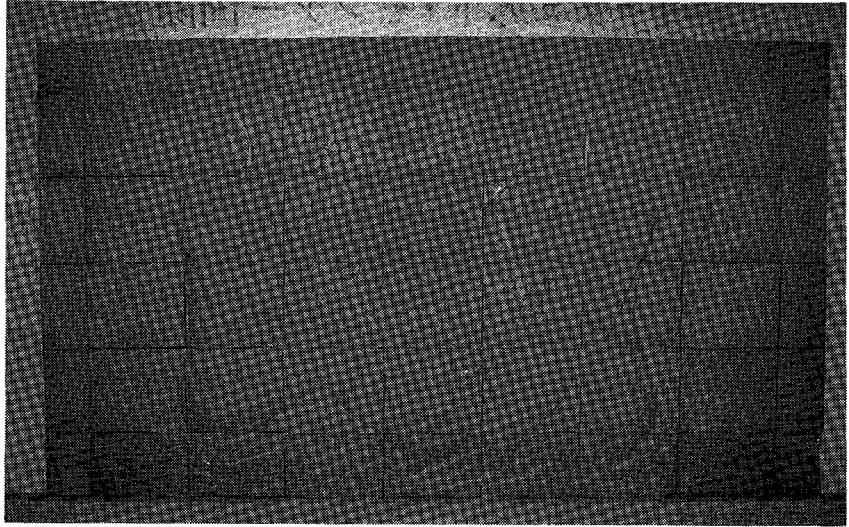
テラコッタ募金委員会

担当責任者 西澤 貞次

〒151 東京都渋谷区代々木1-55-14

TEL 03-320-0036、FAX 03-320-0037

日本EWCAでは上記の趣旨に賛同し寄付要請活動に会長および副会長名を連記することに致しました。それにより免税処置がとられる可能性が大きくなるとのことです。



編集後記

日本イーストウェストセンター同友会ニューズレター創刊号を3月に発行しました際、日本国内および海外在住のメンバーから大きな反響が会長に寄せられました。

今後もニューズレターの発行を通じてメンバー間のコミュニケーションを一層深め、日本イーストウェストセンター同友会の活動を高めるためのお手伝いが些かなりとも出来ればと思っております。そしてメンバーが力を合せ、この同友会がイーストウェストセンターのみならず日本社会にとっても意義を持つ存在となることを願っております。(H. O.)

ニューズレター 第2号

編集発行 日本イーストウェストセンター同友会

発行責任者 馬場 房子

〒180 東京都武蔵野市境5-24-10

亜細亜大学馬場研究室内

電話 0422-54-3111

タナカ印刷株式会社